

記者発表資料

つながるやん、みえの道！

～ものづくり中部を支えるネットワークがさらに広がります～

「新名神・東環開通効果検討会議」において新名神高速道路・東海環状自動車道等の開通効果を取りまとめました。

新名神高速道路(新四日市 JCT～亀山西 JCT)、東海環状自動車道(大安 IC～東員 IC)が2019年3月17日に開通します。

ネットワークが繋がる事で更に広がる新名神高速道路・東海環状自動車道等のストック効果をお知らせ致します。

- ・ 東名阪自動車道の大幅な渋滞緩和！
 - ・ 年間生産額が約1550億円増加
 - ・ 東環着工前に比べ東環沿線の立地企業数が1.8倍
 - ・ 四日市湯の山道路により行楽シーズンの渋滞が緩和
- 上記他、さまざまなストック効果を掲載

また、同会議のホームページ

(<http://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/tsunagaruyan/index.html>)

において今後、交通状況や開通効果などを報告していきます。



記者発表クラブ

中部地方整備局記者クラブ、愛知県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ、四日市市政記者クラブ、桑名市政記者クラブ、亀山市政記者室

問い合わせ先

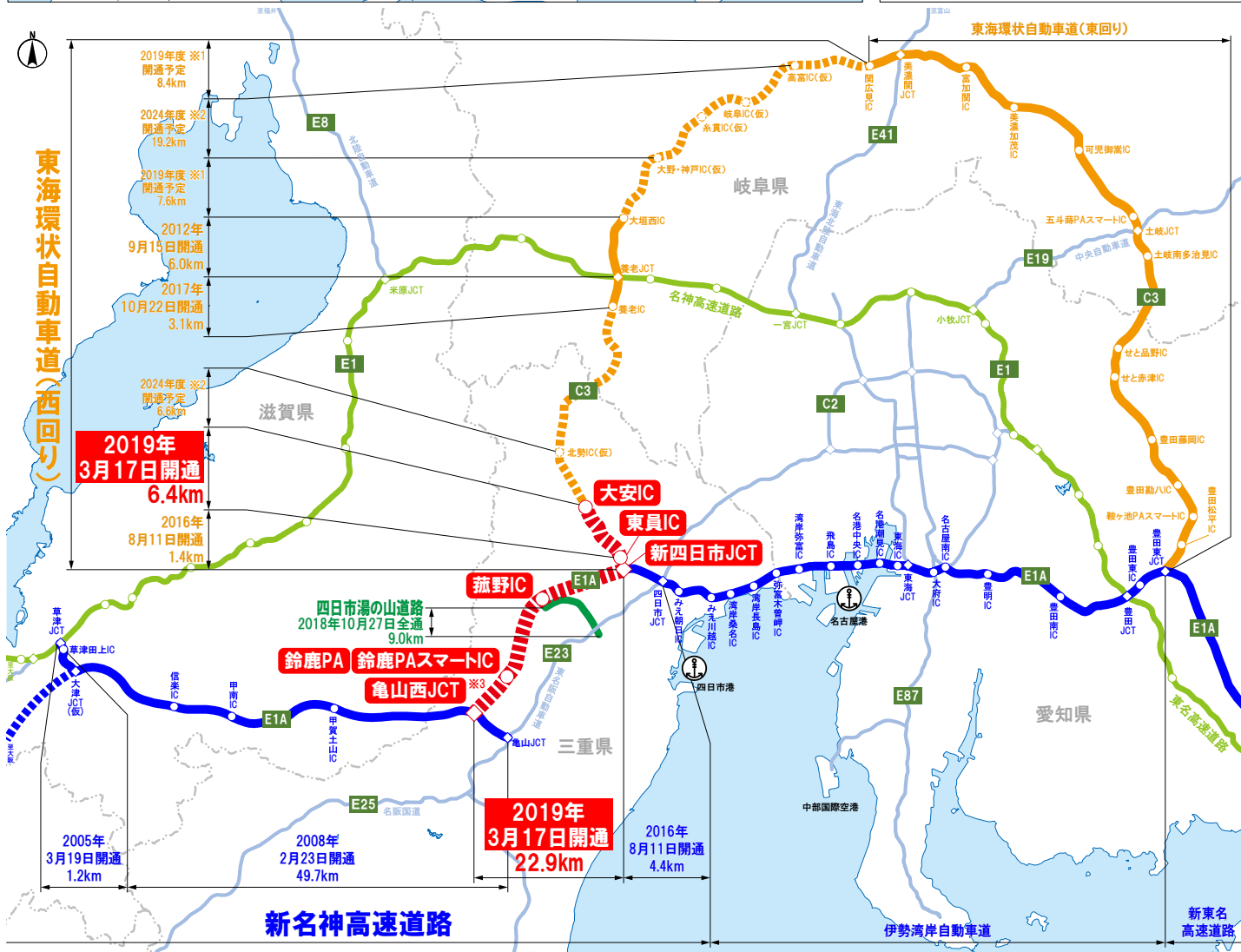
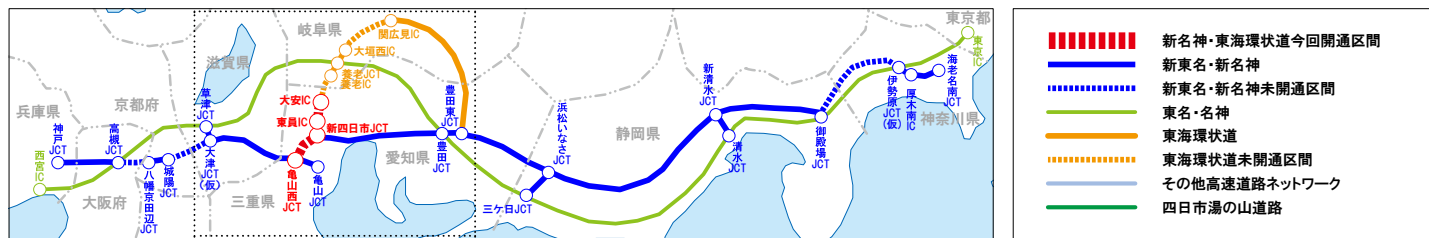
国土交通省 中部地方整備局 北勢国道事務所

TEL : 059-363-5511 (代表)

副所長 さかがわ まさよし
坂川 昌義

計画課長 おがわ よしちか
小川 喜睦

～ものづくり中部を支える道路ネットワークがさらに広がります～



新名神・東環開通効果検討会議

設立趣旨

新名神高速道路（新四日市 JCT～亀山西 JCT）・東海環状自動車道（大安 IC～東員 IC）の開通による影響把握にあたり、関係機関が密接に連携し、開通効果検討および対外的な広報を行うことを目的に設置。

参加機関



国土交通省



中日本高速道路(株)



三重県



いなべ市



東員町



菰野町



四日市市



鈴鹿市



龜山市

活動內容

国土交通省中部地方整備局・中日本高速道路(株)名古屋支社・三重県・沿線市町(四日市市・鈴鹿市・亀山市・いなべ市・東員町・菰野町)では、「新名神・東環開通効果検討会議」を設置し、新名神高速道路・東海環状自動車道等の開通効果について調査・検討を行っています。

※1 予算状況等により開通時期が遅れることがあります。

※2 用地取得等が順調な場合。

※3 亀山西JCTで今回開通する区間と伊勢方面をつなぐランプウェイは、2019年度の完成を目指し、鋭意事業を進めています。

ストック効果①

東名阪自動車道の大幅な渋滞緩和！

新名神と東名阪道とのダブルネットワーク化により、交通の分散・渋滞緩和に期待



ストック効果③

高速利便性の向上がまちの経済を支える！

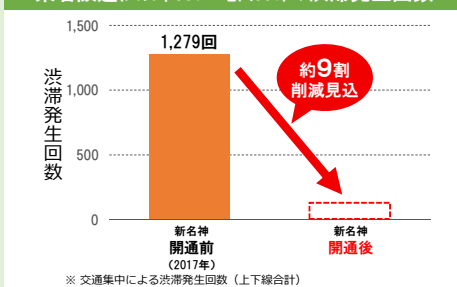
東海環状道沿線のいなべ市では、高速へのアクセス向上により、更なる企業進出や民間設備投資等に期待



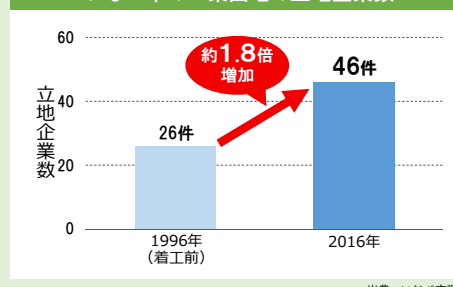
東名阪道(四日市IC～鈴鹿IC)の渋滞状況



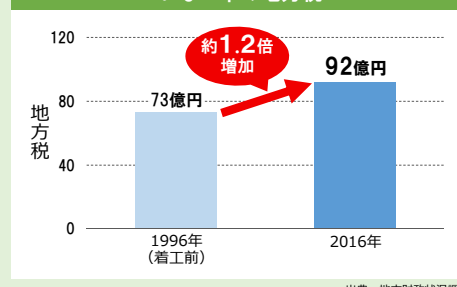
東名阪道(四日市JCT～亀山JCT)の渋滞発生回数



いなべ市の工業団地の立地企業数



いなべ市の地方税



ストック効果②

日本を支えるものづくり地域をさらに強化！

国内の製造品出荷額3割を占める沿線4県の接続性強化により、広域的な経済発展に期待



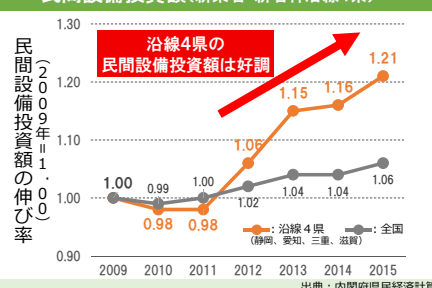
ストック効果④

行楽シーズンにも安全で円滑な移動を支える！

日本有数の規模を誇る御在所ロープウェイでは、行楽シーズンの渋滞緩和や交通の分散により、集客増に期待



民間設備投資額(新東名・新名神沿線4県)



新名神高速道路等開通による地域別生産額

